

別紙4 モニタリングレポートの様式例

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

1. 基本情報

施設名	美村総合交流促進施設
施設所在地	美馬市脇町字東大谷18
指定管理者名	美村が丘管理運営協議会
評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
所管課	美来創生局 観光課

2. 評価結果

項目	評価内容（市コメント）
①業務の履行状況	業務概要は、宿泊所及び体験施設の維持管理と運営業務。 年間利用者人数は、1,598人。 施設管理等に不備はない。 職員研修は危機管理研修等に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業	本施設の特性を活かし、利用者との会話からニーズを聞き取り、改善に繋げている。地域ぐるみによるイベントの開催や、SNS等を活用し情報発信を定期的に行い、施設の利用促進に努めている。
③サービス提供の継続性・安定性	ウォーキングや写真コンテスト、ミニライブなど地域ぐるみでのイベントを開催し、多数の利用者が参加している。
総合評価	A 30年度は酷暑等の影響により売上高等が前年度を下回ったが、本年度は入場者数、売上高を前年度を上回るなど、宿泊客への丁寧なおもてなしで、リピーター獲得への効果があったと考えられる。概ね適正な運営管理が行われているといえる。

3. その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

施設の老朽化が顕著となっているので、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。農業遺産の認定を受け、農業体験や文化体験ができる本施設のPRを市と指定管理者、双方により積極的に行い、さらなる利用促進に取り組む必要がある。
